

麻妻大使の JICA 海外協力隊派遣先視察：オウチヨ市場 (令和 8 年 7 月 16 日)

令和 8 年 7 月 16 日、麻妻大使はオクラン (Mr. Samuel Kweku Ocran) UNICEF 代表及び高橋利志子 UNICEF 副代表とともに、クネネ州オウチヨを訪問し、オウチヨ役場において活動する星野みなみ隊員の活動現場を視察しました。星野隊員は、環境教育隊員として、地域コミュニティや小学校等において、環境保全や公衆衛生に関する指導を行っています。

今回、麻妻大使とオクラン代表、高橋副代表が共同で星野隊員がオウチヨ市場で実施している手洗いの啓発運動を視察したのは、日本政府の拠出で UNICEF が実施しているプロジェクト「ナミビアの被災地域における公衆衛生上の緊急事態の発生率、影響、および深刻度を軽減するための、保健システムと地域社会の能力強化」(実施期間：2026 年 3 月～2027 年 2 月)において、星野隊員が UNICEF と連携して手洗いの啓発を行っているためです。麻妻大使、オクラン代表、高橋副代表は、アイベブ (His Worship Bartholomeus !Aibeb) オウチヨ町長とともに、星野隊員の手洗い啓発活動がオウチヨ地域の衛生習慣の底上げに貢献していることを確認しました。

ナミビアには、2006 年以降これまで、星野隊員を含めて JICA 海外協力隊として 177 名の隊員が派遣されており、その活動は日本とナミビアの友好的な二国間関係の基盤になっています。JICA 海外協力隊の活動はナミビア政府からも高く評価されています。

